

平成 26 年度

# 地球温暖化防止実行計画

平成 27 年 1 月

社会福祉法人 北伸福社会

金沢朱鷺の苑

## 1. 事業の内容

### 社会福祉事業

社会福祉法人北伸福祉会（朱鷺の苑グループ）は、「希望・敬愛・報謝」を基本理念に、石川県金沢市と穴水町で社会福祉施設（児童施設、老人施設）を運営しています。

金沢市内においては、高齢化が進む中、地域の様々なニーズに応えられるよう、特別養護老人ホームやケアハウス等の入居施設や、老人デイサービスセンターやホームヘルプサービス等の在宅サービスを充実させています。また、地域で暮らす高齢者やそのご家族の相談にきめ細かく対応するための「地域包括支援センター」を金沢市から3か所委託され設置経営しています。

金沢朱鷺の苑 施設面積 7,639.43 m<sup>2</sup>（地上3階）

## 2. 計画の目的

環境に配慮した事業活動を推進するための具体的な手段および推進体制を定め、それに基づき温室効果ガスを削減することにより、地球の温暖化防止と循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築を目指します。

## 3. 計画の期間

計画期間は、平成25年度（4～3月）を基準年度とし平成26年度から28年度までの3年間とします。

## 4. 計画の範囲

朱鷺の苑グループは金沢市内において、今回の「金沢朱鷺の苑」をはじめ20の施設を運営しております。本計画では、当面基幹である「金沢朱鷺の苑」での温室効果ガスの削減を図り、効果を見定めたくえで範囲を拡大する計画です。

## 5. 温室効果ガスの排出量の現況

### (1) 平成25年度温室効果ガス排出状況と燃料別排出割合

（計算詳細は別紙資料参照）

	〔排出量(kg-CO <sub>2</sub> )〕	〔排出割合(%)〕
二酸化炭素	906,878	100.0
（電気）	456,083	50.3
（灯油）	369,688	40.8
（LPG）	17,589	1.9
（ガソリン）	25,935	2.9
（軽油）	37,583	4.1

### (2) 温室効果ガス排出原因分析

当施設の事業活動における、温室効果ガスの排出原因は、照明・冷暖房に関わる電気・灯油が主たるものであります。

## 6. コピー用紙、廃棄物の現況

### (1) 平成25年度コピー用紙の購入量

A3	18,000枚	B4	25,500枚
A4	362,500枚	B5	30,500枚

### (2) 平成25年度廃棄物の現況

#### 廃棄物の種類

生ゴミ、紙類（段ボール・包装関係紙・事務用紙・雑誌）、瓶缶類、廃油 他  
排出量

正確に把握できていないが、毎日4トン車に1台排出している。

## 7. 二酸化炭素排出量等の削減目標

平成25年度の排出量を基準として二酸化炭素の削減目標を次のとおり設定します。

(計算詳細は別紙資料参照)

	平成25年度 (基準年度)	平成28年度 (目標年度)	増減目標
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> /年) (燃料別排出量内訳)	906,878	879,672	△3%
電 気	456,083	442,401	
灯 油	369,688	358,597	
LPG	17,589	17,061	
ガソリン	25,935	25,158	
軽 油	37,583	36,455	

## 8. 二酸化炭素排出量削減のための取組み

### (1) 電気

- 1) 非使用時、不要場所の消灯を徹底する
- 2) 冷暖房の基準温度設定による効率運転をする  
中間期(春・秋)は、外気冷房並びに間引き運転をする
- 3) 消灯時間の徹底をする
- 4) 営業時間外の冷暖房運転を中止する
- 5) 空調機のエアフィルターの定期清掃及び取替えをする
- 6) LED及び省エネ型の蛍光灯に切り替える
- 7) 冷蔵庫等は、庫内に詰め過ぎず、適正温度を設定する
- 8) 自動販売機の運転時間の管理をする
- 9) 健康のため、職員のみでのエレベーター使用を控える

(2) 灯油／ガス

- 1) 給湯中心使用時間帯以外の熱源機運転を停止する
- 2) 同時時間帯での給湯循環ポンプ運転を停止する
- 3) 営業時間外の給湯運転を中止する
- 4) 厨房責任者の節減意識の向上を図る

(3) ガソリン・軽油

- 1) 定期的に車両点検整備を実施する
- 2) アイドリングストップを実施する
- 3) 急発進、急加速をせず、経済的な運転をする
- 4) 計画的な訪問スケジュールによる運行距離の短縮を図る
- 5) タイヤ空気圧を適正に保つ

9. その他の環境対策

(1) 紙使用量の削減

- 1) 両面印刷、両面コピーを推進する
- 2) 使用済み用紙の裏側利用を促進する
- 3) 使用済み封筒の再利用を促進する
- 4) 包装用紙の再利用を促進する

(2) 廃棄物の削減

- 1) 廃棄物の分別を徹底する
- 2) 食事メニューの工夫により、廃棄物（残渣）を削減する
- 3) 科学的介護の取り組みにより、廃棄物（紙おむつ等）を削減する

(3) 自然を活用した環境の推進（緑・水・風による取り組み）

- 1) 敷地内の緑化を推進する
- 2) 屋上の緑化（又は断熱）を検討する
- 3) 打ち水を実施する

10. 計画の推進体制

(1) 組織

施設長をリーダーとし施設単位での活動を行います。

(2) 職員への啓蒙

- 1) 環境活動の成果、評価および環境保全に関する情報を施設内で発信し、常に関心を持たせます。

（光熱費、ガソリン代、包装資材費、事務用品等の単価・使用量の施設内掲示により節減意識の向上を図ります。）

- 2) 節電意識の向上のため、施設内に表示を行います。
- 3) 快適性ととの両立を図るため施設内での省エネ活動を提起します。

(別紙) 二酸化炭素排出量計算書

項目		単位	CO2 排出係数	基準年度(平成25年度)		目標年度(平成28年度)	
				使用量	排出量 (kg-CO2)	使用量	排出量 (kg-CO2)
燃料	ガソリン	L	2.32	11,179	25,935	10,844	25,158
	軽油	L	2.58	14,567	37,583	14,130	36,455
	灯油	L	2.49	148,469	369,688	144,015	358,597
	液化石油ガス(LPG)	kg	3.00	5,863	17,589	5,687	17,061
電気使用量(一般電気事業者)		kWh	0.63	723,942	456,083	702,224	442,401
合計				-	906,878	-	879,672